

## 静岡県地学会のあゆみ（120）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00028587">http://hdl.handle.net/10297/00028587</a>

## 静岡県地学会のあゆみ (120)

**東部支部活動**: 8月7・11・20・24日, 「楽寿園と周辺のジオと歴史」と題した巡検会を実施(参加者: 65名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員). 9月16・21・24日, 「ジオツアー三島66」(頼朝旗揚げ②牛畷大路～山木兼隆館跡, 韮山城)と題した巡検会を実施(参加者: 71名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員). 10月7・15日, 「ジオツアー三島23」(大見川下流域のジオと歴史 八幡～修善寺のジオと歴史)と題した巡検会を実施(参加者: 67名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員). 10月26・27日, 「ジオツアー三島・特別編」(大学構内と周辺のジオと歴史)と題した巡検会を実施(参加者: 32名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員). 11月11・16・19日, 「ジオツアー三島69」(裾野駅東の三島溶岩と石造物)と題した巡検会を実施(参加者: 63名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員). 12月9・14・17日, 「ジオツアー三島70」(三島市北上地区のジオと歴史)と題した巡検会を実施(参加者: 63名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員). 1月10日, 東部支部拡大運営委員会を実施し, 東部支部運営委員の引継ぎと今後の運営について協議した. 1月13・21日, 「水の郷公園(清住緑地+丸池)」(西町のジオと歴史)と題した巡検会を実施(参加者: 62名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員). 2月10・15・18日, 「ジオツアー三島72」(牧之郷地区のジオと歴史)と題した巡検会を実施(参加者: 73名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員). 3月9・17日, 「ジオツアー三島71」(箱根西坂のジオと歴史)と題した巡検会を実施(参加者: 50名, 案内者: 増島 淳会員・新聞則生会員).

**中部支部活動**: 10月2日, アースサイエンスウィーク・ジャパン in 静岡の最終確認等を行った. 11月3日, 「ナウマンゾウの標本および収蔵庫の見学会」と題した催し物を実施(参加者: 27名, 講師: NPO法人静岡県自然史博物館ネットワーク 横山謙二氏・宮澤市郎氏).

**第56回年会**: 10月19日, ふじのくに地球環境史ミュージアムでアースサイエンスウィーク・ジャパンと共同開催した. 吉川 真博士(宇宙航空研究開発機構(JAXA)・准教授)の特別講演『「はやぶさ2」の挑戦とこれまでの成果』および斉藤朗三会員, 塩坂邦雄会員, 加藤国雄会員, 竹林知大会員の研究発表を実施した(参加者数不明).

**第205回運営委員会**: 10月19日, ふじのくに地球環境史ミュージアムで開催. (1) 支部報告: 各支部から前回運営委員会以降の活動報告があった(詳細は上述の支部活動を参照). (2) 第57回総会: 開催日は6月14(日)(第一候補)または21日(第二候補)とし, 会場は浜松科学館とした. 記念講演講師は増田俊明会員(静岡大学・特任教授)とし, 変成岩に関する講演をして頂くことにした. (4) その他: 本部主催巡検会の復活について協議した. 次回運営委員会を2020年3月15日または3月21日とした. (出席委員: 熊野・谷口・増島・斉藤俊・斉藤朗・青木・佐藤弘・加藤・坂田尚子(代理))

**西部支部活動**: 11月10日, 「浜松科学館見学会」と題した催し物を実施(参加者: 7名).

**会誌第120号の発行**: 11月13日, 「静岡地学」第120号を発行. 地学散歩(100), 研究・報告4編, その他地学会のあゆみ(119)を取録(46p).

**第206回運営委員会**: 3月22日, 静岡大学理学部で開催. (1) 支部報告: 各支部から年会以降の支部活動報告がされた(詳細は上述の支部活動を参照). (2) 会計報告: 会計2019年度の決算および

2020年度の予算案について協議した（審議結果は奥付参照）。（3）会員動向：庶務委員から2019年度の会員動向について報告され、了承された（会員数、145名；入会者、9名；退会者、7名）。（4）第57回総会：6月14日（日）13時から浜松科学館1階第1・第2講座室で行うことにした。講師は増田俊明会員（静岡大学防災総合センター・特任教授）とした。（5）2000年度運営委員について協議し、了承された（奥付参照）。（6）編集委員会の体制について協議し、各支部の編集委員が投稿原稿の編集作業を分担することになった。また投稿規定の一部（原稿の区分・構成・書式）の改定が了承された。（7）熊野会長より、アースサイエンスウィーク・ジャパン及び静岡STEMアカデミーの紹介とそれらへの協力要請があった。（出席委員：熊野・楠・佐藤・谷口・竹林・増島・齊藤俊・新聞（齊藤朗の代理）・青木・加藤・今村・森田）